

# 勝手に議会モニター 2021年6月一般質問

2021年9月9日

サステナブルみはら

# 議会傍聴ツアー・勝手に議会モニター

市議会は市の意思決定を行う大事な機関ですが、議員を選ぶ選挙の投票率は下がる一方です。

市議会が、市民の思いをくみ取り、市民の声を代弁し、未来を見据えた政策を実現するために、市民の役割も大切です。

議会を傍聴したり「議会だより」を読んだ方が、議会に対して意見を届ける機会を提供する。それが「勝手に議会モニター」です。

## 市民と議会の 共創へ



# 勝手に議会モニターを 2021年6月から実施

## R3年6月議会一般質問

勝手に議会モニター

に対するご意見はこちらから。

スマホは上側、PCは右側のフォームに直接記入・送信していただくか、下記Googleフォームを開いてご回答ください。

<https://forms.gle/Zk3VfSp9M1hVFxrYA>

Googleフォームの中に、

- ・ 2021年8月発行みはら市議会だより
  - ・ 三原市議会録画配信
- をリンクしています。

議会モニターアンケート  
ト：R3年6月一般質問

三原市民と三原市議会が相互に協力、共創できるよう、「勝手に議会モニター」として、各議員の一般質問に対する声を募集し、市議会／市議会議員にフィードバックします。

※アンケートの順番は、一般質問の発言順です。

※一般質問を行った12月上旬までに返信いたします。

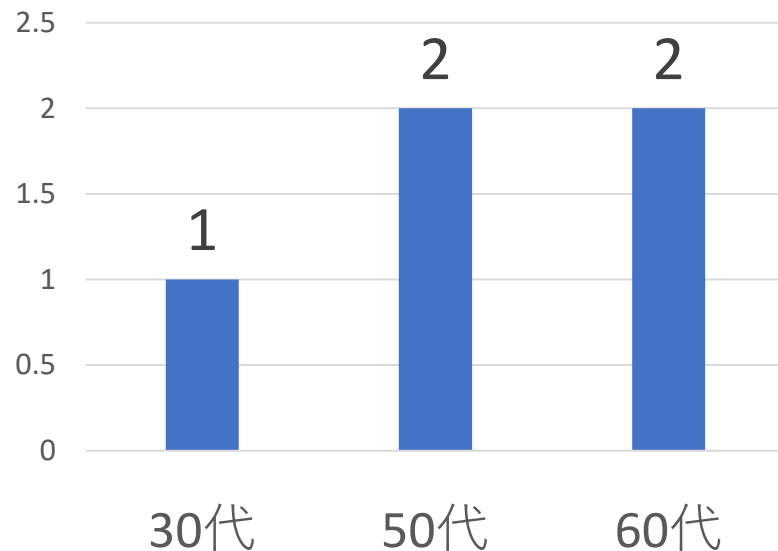
サステナブルみはら <https://sando58.wixsite.com/sustainablemihara/>

# 勝手に議会モニター 第1回（2021年6月）の結果

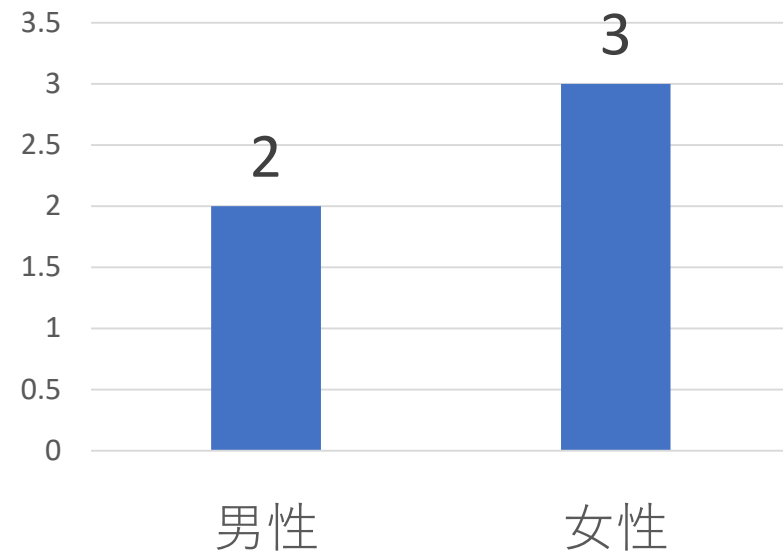
回答者数：5人

コメントが寄せられた議員：5人

回答者の年代



回答者の性別



# 勝手に議会モニター 第1回（2021年6月）の結果

寄せられたコメントを原文のまま掲載します。  
それぞれの見解となります。

- 身近でわかりやすいテーマだった。道路の問題については、場所がピンとこなかったが、話の流れとしてはよくわかった。ワクチン接種については、多くの人が感じている内容と思った。道路については、交通事故件数を根拠として整備の必要性を述べられ一理あるが、難しい問題。国・県・市で、作り過ぎた道路や施設の維持管理が大きな課題。「もっと便利に」と延長・拡張できた時代は良かったが。
- 一問目は、◎、二問目は、裁量がない市の理事者に答弁を求める質問ではない。



田中裕規議員  
たなかひろき

## コロナワクチン接種の対応について

**問** 4月初旬に行われた初回の高齢者向けワクチン接種の受付は大変混乱した。この反省点を踏まえ、受付や対応方法を改善して、高齢者向け接種を進めてほしい。

**答** 7月後半には集団接種回数に余裕があるので、まず60歳以上64歳に対して、6月から接種券の送付を開始し、7月下旬から8月中旬に集団接種ができるよう取り組む。

60歳未満の対応は、ワクチン供給の見通しが不明確なため、明確なスケジュールは描けていない。状況が分かった次第、議会に報告する。

## 県道344号大草三原線（長谷地区）の拡幅整備について

**問** 県道344号の長谷地区の区間は、狭い箇所が多く、対向車が来ると待避所で待避してすれ違わなくてはならない。

**答** 頻繁に通る交通量の多い道路で、過去10年間で39件も交通事故が発生している大変危険な区間である。

過去に何回か整備計画が持ち上がったが、過去の検討状況と、整備が進まない理由について問う。  
**答** この区間は、県が改良計画を検討したが、本郷久井線及び三原本郷線の整備を優先したため事業に着手していない。また、当面の安全確保対策として、平成28年度に待避所の設置を検討した

が、地質上施工が困難で、多額の工事費になるなど課題が多く、また30年豪雨災害の復旧事業を優先したため、実施に至っていない。

**問** 現在の整備計画はどのようなものになっているのか。また、拡幅整備に向け、本市はどのような進めようとしているのかを問う。

**答** 県の令和3～7年度の道路整備計画を示した「広島県道路整備計画2021」には挙がっておらず、現在の改良予定はない。今後は、次期計画への位置付けを県と調整していく。また、当面の安全対策として、護岸の嵩上げの計画があり、この事業と合わせ、県と協議をしていく。



県道344号大草三原線長谷地区

VOL.65（令和3年8月）みはら市議会だより

# 勝手に議会モニター 第1回（2021年6月）の結果

寄せられたコメントを原文のまま掲載します。  
それぞれの見解となります。

- とても問題点が明確になっていました。実際の考えられる事例をもう少しお話いただくと一般の人も問題意識をより感じるのではないのでしょうか。
- 一言でいえば、揚げ足とり。自己主張はいいが、全く建設的でない。本会議であるの議事録が、将来的に何の進歩になるのか、理解不能。

**問** GIGAスクールのメリット、デメリットは。どこでも、アカウンと端末があれば授業や学びが継続できること、従来の一斉学習に加え、ICT端末を活用した双方向型授業、協働学習が実現できることなどである。

**答** デメリットは、教員の習熟を必要とすること、児童・生徒の健康に留意する必要があることなどである。

**問** デメリットは子どもとの格差が生じることはないのか。

**答** これまで教員が蓄積してきた教育実践にICT端末の活用を取り入れ、子どもたちの学習環境が一定に保てるよう、その学ぶ力を伸ばしていけるよう努める。

**問** ICT端末は何台購入したのか。

**答** 6932台である。

**問** 更新経費はどこが負担するのか。

**答** 全国市長会を通じて国に国庫負担を要望している。

**問** ICT端末の操作に未熟な教職員が指導できない状況にどう対処していくのか。

**答** 操作技能を身に付けて指導できるという教職員が80%となっている。80%がいいのではない。



ICT端末

**問** 広島県水道企業団準備会に参加していない広島市・福山市・呉市・尾道市・大竹市への調査は。

**答** 3月中に大竹市と呉市を調査している。計画的な施設整備や効率化を図り、単独経営維持できないなど、各市の実情に応じて統合以外の連携を選択し、不参加を判断されたと理解している。

**問** 調査した復命書の開示をもらいたい。

**答** 必要があれば資料提供する。

**問** 集中して訪問指導を行うなど、ICT端末を子どもたちの学びに活用できるよう、それぞれの持てる力を発揮できるように努める。

**問** 他市では個人情報保護条例に抵触する事案もあるが、本市はどうか。

**答** その点については今後調査して、またしかるべき機関にも依頼をかけるながら、調べて行く。

**県水道企業団の取り組みについて**

**GIGAスクールの推進について**



まさひら ともはる  
**政平 智春 議員**

# 勝手に議会モニター 第1回（2021年6月）の結果

寄せられたコメントを原文のまま掲載します。  
それぞれの見解となります。

- 過去のみなと再生計画の多大なる予算が使われてきた事、市民の賛同共感がない計画のみに終わってきた計画に対しての苦言であったと思われる。一番に三原市民が安心して憩える港再生を進めることで、三原市の身の丈に合った計画が実現化すると感じた。
- 一点、コロナの支援策も重要かと思うのですがコロナ後のしぼんでしまった消費や空洞化したまちづくりについて話をしていただきたかったです。全般的にわかりやすく良かったです！



フェリー航路が廃止された三原港



寺田 元子 議員

## 三原内港の再生計画は中止を

**問** 三原内港の再生計画を策定中だが、過去にも内港については市民不在で大型整備計画が作られた経緯がある。市民との合意形成はどうしていくのか。今、内港整備より優先すべき公共事業は「安心・安全のまちづくり」や市民生活に身近な整備ではないか。

**答** 平成5年の計画では人々が集い潤いのある都市のウォーターフロントとして整備を予定していた。新たな計画では駅との近接を生かし回遊性を持たせ、広場や公園の整備を望む意見が多くあり、市民の理解を得られる計画にしたい。

**問** 50年後の中心市街地を「水際都市」とするが、身の丈にあった整備にすべきである。駐車場は必要最少限にし、港湾ビルについては所有者の意見を尊重し、現用地を活用したイベントなどの利活用を図るべきではないか。

**答** 港湾整備は重要度の高い事業であり、市民の意見や経済団体などと連携して取り組む。

**問** 感染症から市民の命と生活を守る市政へ

**答** 港湾整備は重要度の高い事業であり、市民の意見や経済団体などと連携して取り組む。

**問** 新型コロナウイルス感染症の終息がみえない中、暮ら

しと経済への打撃が深刻だ。市民の命を守り、中小事業者や個人事業主の事業継続へ十分な補償を行うよう5点を求める。

①国へ第2弾の持続化給付金や家賃支援を求めること  
②市の独自支援はすべての事業者を対象に  
③申請をサポートする市の窓口の開設を  
④薬局でのPCR検査と64歳以下のワクチン接種の早期実施を  
⑤生活困窮世帯への新制度の周知と丁寧な対応を求める。

**答** ①事業継続への国の支援は必要であり要望していく  
②国の月次支援金の申請が6月から始まる。さらに県も支援を計画中であり活用を図る。状況に応じて必要な支援は検討する  
③引き続き商工振興課で対応する  
④6月14日から市役所玄関前で検査が始まったので早急に周知していく。  
60歳以下の接種はワクチンの確保に努め、体制や予約方法を早急に検討する  
⑤支援制度について、国からの正式な通知が届き次第迅速に対応する。

# 勝手に議会モニター 第1回（2021年6月）の結果

寄せられたコメントを原文のまま掲載します。  
それぞれの見解となります。

- のり面防草コンクリートですが、のり面の草などについては環境に配慮した物ではないかと思われる。コンクリートでのり面を固めてしまうと、蓄熱により農作業者にとってとても負担があることと、またのり面の土の補給、田んぼ畑の自然界の栄養分不足、三原市内の田畑の美しい景観が損なわれることが懸念される。それでは農家さんの草刈り作業の軽減は、三原市の予算により、農道についても業者に草刈り予算にて行う。三原市内の農道などコンクリート施工（高額）するよりも三原市の農家・景観・自然の摂理も守られるのではないですか。

サステナブルみはら <https://sando58.wixsite.com/sustainablemihara/>



すぎたに たつじ  
杉谷 辰次 議員

## 防災・減災対策について

**問** 災害時に、市が発令する避難勧告が廃止され、避難指示に一本化されたことにより、市民行動はどう変わるのか。

**答** 近年、避難勧告の夕イミングで避難せずに逃げ遅れて被災するケースが多く、また、避難指示が出るまで避難しなくてもよいと誤解する市民も多いことから、避難の夕イミングを明確にするため、警戒レベル4の避難情報は、避難指示に一本化された。この時点で危険な場所から全員が避難する行動が必要である。

**問** 平成30年7月豪雨により発生したため池の被害を教訓に、適正な防災対策を進めているのか。

**答** この災害を教訓に、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が令和元年7月に施行され、全ての農業用ため池を対象に、所有者等によ

る適正管理の努力や県への届出が義務付けられた。また、決壊の危険性の高いものから順次防災工事、利用しないため池は廃止工事を行う。県と管理者の調整、通常点検、維持補修による適正管理をサポートしていく。

## 農業の振興対策について

**問** イノシシの電気柵の電導線下部の草刈り作業が、高齢者にとっては大きな負担となっている。農家の負担を軽減するため、公道の法面や用排水路の管理法面に防草コンクリートを施工するなど、市単独事業の創設はできないのか問う。

**答** 原材料支給や多面的機能支払事業、中山間地域等直接支払制度など既存事業の有効活用をお願している。また、関係



市道の路肩に設置された電気柵（侵入防護柵）

部署と連携し、農業振興のモデル事業として今後の事業化を検討していく。

**問** 農業所得の増収に向けた市長の農業政策を問う。

**答** 農業は今後の成長分野と考えている。今後も環境の変化を踏まえた適切な支援により、農業者の負担軽減を図るとともに、デジタル化やスマート農業を取り入れた事業の確立・支援を積極的に行い、持続可能で発展し続ける魅力ある農業をめざし、様々な施策を推進していく。



# 勝手に議会モニター 第1回（2021年6月）の結果

寄せられたコメントを原文のまま掲載します。  
それぞれの見解となります。



すみひろ  
角広 寛 議員

## 菅川堤防の嵩上げ強化について

**問** 本郷町の菅川は、これまで何度も決壊したにもかかわらず堤防は低く弱いままで、災害から3年経過してなお、当時と同じ雨が降れば再び決壊する危険がある。

今後工事も予定されているが、10年後20年後には再び土砂が堆積し、決壊の危険が出てくる。

早急に低い堤防を8センチ嵩上げ均一化し法面全体をコンクリート強化して、長期に渡る安全を確保すべきではないか。

**答** 現在、広島県により沼田川の浚渫及び菅川の堤防の嵩上げと補強工事が行われている。豪雨災害と同程度の洪水相当の流量で被害が生じないように、令和4年度まで行う緊急的な事業である。土砂は堆積土等除去計画に基づき浚渫する。市としては県に對し着実かつ計画的な事業実施が図

## 水源保全条例の制定について

**問** 本郷町に許可された産廃処分場については、裁判でその水質汚染の危険が明らかになった。悪質な処分場を防ぐため、簡潔な条例を早急に制定すべきではないか。

その内容について  
①水源林等の売買は届出ること

②環境保全対策書を届出して承認を得ること

③住民と環境保全協定を締結すること

④嫌がらせ電話等が確認された場合は、知事に不許可を要望すること

⑤林地開発許可は近年の豪雨災害を踏まえ厳正に審査すること

⑥環境汚染の危険性があ

⑦上記②、⑤、⑥については市民の代表である議会の同意を得ること  
など、制定が可能かどうか見解を問う。

**答** 産廃物処分場は、生活環境を保全する上で必要であり、県知事が許可するもので、その設置を規制することは法の趣旨に反する可能性がある。他法令との整合性を図るため顧問弁護士と協議し慎重に検討したい。

**意見** 困難でも制定が不可能でなければ一緒に努力していただきたい。

■この他の質問事項  
●ゆるキャラ「隆景くん」を活用した観光振興



土石流危険のある処分場入口の防護壁

- 隆景キャラの質問の中身が項目だけでは分からないです。行政の中で隆景キャラがどう位置付けられているのか分からない。
- （主張に共感）水道は市民生活の要だから。

# 勝手に議会モニター 第2回（2021年9月）受付中



<https://forms.gle/W5Ts2Do7FYpsVcz99>

（Google フォーム）

Google フォーム中に三原市議会YouTubeをリンクしています

# 勝手に議会モニター 第2回（2021年9月）受付中



広島県 三原市議会チャンネル

チャンネル登録者数 123人

登録済み

ホーム

動画

再生リスト

三原市議会YouTubeは、  
三原市議会トップページから・・・  
または、検索エンジンから

アップロード動画



令和3年第6回（9月）市議会

広島県 三原市議会チャンネル・288回視聴・1日前に配信済み

【令和3年第6回市議会定例会議案目次】 議第72号 令和3年度三原市一般会計補正予算（第7号） 議第73号 令和3年度三原市国民健康保...

サステナブルみはら <https://sando58.wixsite.com/sustainablemihara/>